

# シルバー流山

第 107 号 平成 23 年 5 月 15 日

発 行 社団法人 流山市シルバー人材センター

〒270-0114 流山市東初石 3-103-18

URL : <http://www.sjc.ne.jp/nagareyama/>

会 長 初野 正夫

TEL 04-7155-3669

E-mail : [nagareyama@sjc.ne.jp](mailto:nagareyama@sjc.ne.jp)

# 5

## 春の親睦ウォーキング

新緑の候、会員 34 名参加にてウォーキングが行われました。

清水公園駅前広場 10 時集合し、駅前では狼副会長に依る野田街の内容説明等あり駅前広場で全員で記念撮影。その後ガーデンマップにしたがい公園散策に入りました。

清水公園は、野田市に約 28 万平方メートルの広さを有する自然公園で、明治 27 年茂木家 3 先人が建設した庭園を町の人々に開放した民営の公園だそうです。歴史の古い清水公園には、数々の旧跡があり応永 5 年頃宥秀上人により開山された慈光山金乗院や仁王門さらに重要文化財旧花野井家住宅など貴重な建物を鑑賞でき、四季折々の花々が堪能できました。今回の桜見物では木々から舞い落ちる花びらが風に依り道路一面にまきちらされ大変きれいでした。

公園内各々散策し、全員で早い昼食をレストハウス「花みずき」にていただき平澤会長より今日のハイキングを解散しますの言葉により各人帰路につきました。（染谷 忠夫・記）



和を以て貴しと為す

# 理事会

# 活動報告



『平成23年度 第1回理事会』 4月11日(月)

## 【報告事項】

- ①第55回通常総会の総括について⇒多くの会員の理解をいただき無事終了した事、又、出席会員からの提案「公益社団法人移行についての説明会」を56回総会終了後開催を予定する等説明された。
- ②第56回通常総会の準備日程について⇒総会当日までの準備について説明された。
- ③センター事業運営状況について⇒平成23年2月分の事業が報告された。
- ④各委員会の報告について⇒委員会報告欄を参照
- ⑤会員互助会の報告について⇒4月15日のウォーキングへの参加申し込み状況報告された。
- ⑥東日本大震災復興義援金の募集について⇒千葉銀行に口座を設け4月号に折り込みを作成して会員に協力をお願いすることが説明された。

## 【協議事項】

- ①新入会員及び退会会員の承認について⇒3月の新入会員1名、退会会員32名が承認された。  
(富田 秀之・記)

# 委員会

『事業運営推進委員会』 5月2日(月)

- ①第56回通常(決算)総会提出議案の検討 ②総会当日までの準備体制と役割分担
- ③センター事業運営状況等について協議しました。  
(石野目 進・記)

『表彰選考委員会』 5月2日(月)

表彰規程第2条に基づき、在籍10年超の永年表彰者等被表彰対象者の選考を行いました。  
(石野目 進・記)

『適正就業委員会』 4月20日(水)

- ①未就業者に対する「就業に関するアンケート」の実施内容を確認 ②未就業者との交替を目的として、同一就業場所・長期就業期間(5年以上)を基準に異動対象者を調査すること ③適正な就業態様を確認する事業所巡回について、訪問場所を検討 ④超傘寿会員(80歳以上)懇談会の開催方法等について協議しました。  
(狼 次郎・記)

『福社会館等館長会議』 4月25日(月)

第1回会議開催 年度初の会長挨拶に続き、市社会福祉課野口館長から (a)市からの連絡体制(福社会館リレー電話)修正 (b)緊急連絡体制 (c)予約システムの変更と抽選申込の取扱方法 (d)休館中の業務報告書計数等の話の後 ①23年度自主事業の具体化と市広報の活用 ②各種報告様式の統一 ③パソコンの設置と活用方法 ④接遇研修の実施 ⑤緊急時対応マニュアル ⑥防火管理者の届出 ⑦各館の当面する課題等について協議しました。

(石野目 進・記)

## 胃がん検診を受けましょう!!

保健センターでは、自覚症状の無い方対象に検診を受付けています。

- ◎ 期間:4月~6月23日まで <受診をお願いします>
- ◎ 申込先:保健センター (西初石4-1433-1) 電話:7154-0331
- ◎ 健康が就労の源です。 (安全就業対策委員長 佐藤 奔)

今日もまた 無事でよかった 安全第一

## 互 助 会

### 『パソコン同好会』 4月11日(火)

南福祉会館で総会を開催。平成22年度の活動報告と会計報告及び23年度の活動計画案・収支予算案が承認されました。新年度の役員改選では、会長：上、副会長：加藤・神田、会計：岡野の各氏が選任され、赤木会長が顧問に就任、桂川・吉田氏が退任されました。パソコンに関連する技術面をより充実する各種行事を実施することが承認されました。(上 辰男・記)

### 『グランドゴルフ同好会』

4月は好天に恵まれ、4週連続の開催になりました。例年、この時期は風が強く、グランドは白詰草(クローバー)やタンポポが群生してボールの方向性が定まらず、皆さんスコアをまとめるのに四苦八苦していました。優勝スコアは80~85の高い水準で、悪戦苦闘振りを物語っています。同好会は「ほっとプラザ下花輪」で月・水とも午後1時からプレーを開始しています。初心者、経験者の方、ともに大歓迎です。(大西 一英・記)

### 『囲碁同好会』 4月24日(日)

総会で役員を選出と会の運営方法について討議しました。会長には仙波三郎氏を、又幹事4名再選を含めて選出しました。例会は毎月1回、月後半の日曜日開催とし大会は年2回開催と決めました。会員は現在25名です。次の例会は5月22日と6月26日です。(早川 鉞幸・記)

### 『写真同好会』 4月26日(火)

平成22年度の総会は、午後1時~コミプラB会議室にて行いました。狼氏より会計報告がありました。5月の例会は5月24日(火)コミプラB会議室午後1時からです。写真2枚ご持参ください。いつもより時間を取ってお待ちしています。(川口 美明・記)

### 『ゴルフ同好会』

東日本大震災で延期になった「第6回コンペ」を、5月19日(木)に野田市PGで開催します。空き枠があります。希望者は、ご参加ください。(加藤 吉彦・記)

## シリーズ 【くらしのひとくちメモ】 ④



### 『ほめほめ商法』

「あなたの俳句を見せてもらった。とても素晴らしいので、新聞(雑誌)に載せませんか。」高齢者が広告代理業者から、電話で勧誘され、掲載依頼を受けたと勘違いし、喜んで応じたところ、高額の掲載料を請求されるというトラブルが発生しています。高齢者の趣味につけ込む悪質な手口です。絵画を展覧会に出品したところ「あなたの作品を新聞に掲載すれば高額で売れることは間違いがない。」とおだてられ、FAXで送られた申し込み用紙に名前、住所、電話番号を書いて送付した。金額等の記載もないので無料と思っていたところ、掲載された新聞記事のコピーを付け、24万円の高額請求書が届いた。作品は売れるどころか、逆に次々と広告を載せないかと言う勧誘電話が入るようになってしまった。という相談の例もあります。

業者は展覧会、発表会、同人誌等を利用し、住所や電話番号を調べていると思われ、短歌、書道、写真等、他の趣味の世界でも同様のトラブルが起きています。掲載の承諾もしていないのに、勝手に載せられ、請求書が届いても契約は成立していないので支払いに応じる必要はありません。電話で応じた場合でも、電話勧誘販売では契約書を受け取った日から8日間はクーリング・オフが出来ます。電話で応じたのではないかと強引に契約書の返送を迫られてもきっぱりした態度で断りましょう。

資料提供：流山市消費生活センター

TEL 04-7158-0999

**『危ないよ』と 思う心に 事故はなし**

事務局だより

会員数：平成23年 4月30日現在

計 655 男性 548 女性 107

## 5月の予定

| 日  | 曜 | 行事予定                             |
|----|---|----------------------------------|
| 15 | 日 | 「シルバー流山」発行・PC教室                  |
| 16 | 月 | 入会登録説明会(南流山C)・グランドゴルフ            |
| 17 | 火 | PC同好会                            |
| 18 | 水 | 平和台・南流山・名都借福祉会館合同の<br>史跡巡りウォーキング |
| 19 | 木 | 学習教室・ゴルフ同好会                      |
| 20 | 金 | 配分金支払日                           |
| 21 | 土 | 学習教室・PC教室・<br>南流山福祉会館発表会(21・22日) |
| 22 | 日 | PC教室・囲碁同好会                       |
| 23 | 月 | グランドゴルフ                          |
| 24 | 火 | 写真同好会                            |
| 25 | 水 |                                  |
| 26 | 木 | 学習教室                             |
| 27 | 金 |                                  |
| 28 | 土 | 学習教室・PC教室                        |
| 29 | 日 | <b>第56回総会</b> (初石公民館)・PC教室       |
| 30 | 月 | 俳句同好会・グランドゴルフ                    |
| 31 | 火 |                                  |

## 6月の予定

| 日  | 曜 | 行事予定                                  |
|----|---|---------------------------------------|
| 1  | 水 | 事業運営推進委員会                             |
| 2  | 木 | 学習教室                                  |
| 3  | 金 |                                       |
| 4  | 土 | 学習教室・PC教室<br>東部公民館サークル発表会(4・5日)       |
| 5  | 日 | PC教室                                  |
| 6  | 月 | 理事会・安全就業対策委員会<br>入会登録説明会(初石C)・グランドゴルフ |
| 7  | 火 | 広報編集委員会・安全パトロール                       |
| 8  | 水 |                                       |
| 9  | 木 | 学習教室                                  |
| 10 | 金 |                                       |
| 11 | 土 | 学習教室・PC教室                             |
| 12 | 日 | PC教室                                  |
| 13 | 月 | 入会登録説明会(南流山C)・グランドゴルフ                 |
| 14 | 火 |                                       |
| 15 | 水 | 「シルバー流山」発行・適正就業委員会                    |
|    |   |                                       |
|    |   |                                       |

- ◎ 新会員のご紹介(敬称略) 4月の新入会員はございません。  
 ◎ 東日本大震災への義援金のご協力、ありがとうございました。  
 皆さんからの義援金の総額は、4月30日現在「69,670円(内、グランドゴルフ同好会18,550円)」になりました。引続き、シルバー窓口・千葉銀行でのご支援をお願いいたします。

## ◆◆◆ 決算総会・開催のお知らせ ◆◆◆

5月29日(日)午後2時から、初石公民館で平成22年度決算総会を開催します。  
 ご出席の予定をお願いします。

- ◎ 春の交通安全運動実施中です!! <高齢者の事故が増えています。ご注意を!!>  
 5月20日(金)は『交通事故死ゼロを目指す日』です。  
 今年のスローガン: ~ 運転手さん 急いでいるのに ありがとう ~

## 編集後記

会報100号の発行にあたり記念のページが出来ました。同時にホームページチームのご尽力により、創刊号からすべての会報がホームページで見られるようになりました。又、近いうちに管理を受託している流山市東部公民館のホームページも開設されます。当センターの情報を、早く詳しく目にする事が出来るようになります。

<編集委員>  
 富田秀之 小林富二男  
 石野目進 染谷忠夫  
 高山洋一 山下義博  
 加藤吉彦 海老原廣雄

気を抜くな 帰宅するまで就業中

# 会報『シルバー流山・100号』発行記念特集号

昭和59年3月31日に創刊号が発行されて27年、平成22年10月に記念すべき100号を迎えたのを機に発行にご尽力された歴代会長と広報編集委員長から多くのお言葉をいただきました。いただいたお言葉で特別ページを作成いたしました。

平成23年5月 広報編集委員長 富田秀之

<創刊号の1ページです>

(1) 昭和59年3月31日

創刊号

## シルバー 人材センター会報

社団法人

流山市

シルバー人材センター

事務所

流山市東深井989

電話

0471-55-3669



江戸川台東駅前農協付近自転車置場

### 会報発行について



会長 後藤正一

会報発行については旧事業団当時より積年の夢でありましたが、今回シルバー人材センター発足を記念して、創刊号を発行する機会を得ました事は誠に同慶に堪えません。

市長さん始め各界名士の方々のご寄稿を頂き有難く存じます。

又、事務局便り及び会員各位の声その他等を掲載致しまして、市民及び会員相互の疎通を促進し、センターの発展に寄与する事大きいと確信するものであり、皆さんの御投稿を歓迎しております。

さて、シルバー人材センター設立に際し、関係各位並に会員の方々より多大の御尽力を賜りました事について厚く御礼申し上げます。お陰様にて三月二日、法人設立登記を完了致しましたのでご報告申し上げます。

今後、センターの運営等については、当局のご指導を頂き乍ら皆さんと協議して進めて行きたいと考えております。

皆さんのご指導とご協力をお願い致します。



## 歴代会長からのメッセージ



|    |       |    |       |    |        |    |       |
|----|-------|----|-------|----|--------|----|-------|
| 初代 | 後藤 正一 | 2代 | 清水 三郎 | 3代 | 椎名 清   | 4代 | 及川 正一 |
| 5代 | 山田 富雄 | 6代 | 内田 弘  | 7代 | 五十嵐 克夫 | 8代 | 初野 正夫 |

(氏名、敬称略)

### 第5代会長 山田 富雄 (21号～24号) 年2回発行

おめでとう！より吃驚したが本音です。會報は會員の心の絆役であり、センター歩みの歴史役でもあります。特に各号表紙の文面はその時点の情勢を表現している貴重な資料と言えませう。私は會報31号を最後に退会し、11年間拝讀することはありませんでした。IT化時代とは申せ、老眼鏡組は数多くおります。各号の表紙だけを編集し百頁の單行本を発行されるのも面白いと思います。(賣価百円) 益々のご発展を期待しております。

### 第6代会長 内田 弘 (25号～28号) 年2回発行

3月3日付貴信拝誦しました。會報に対する昨秋来の意欲的な姿勢と今回の入念な編集広報活動に対し、改めて敬意を評します。

即ち會報100号記念を機に、創刊号からの全てをセンターのホームページに掲載する貴案は、まさにIT化の時代に即した快挙であると思います。

このことは、流山シルバーの「設立周年記念誌」と同様、我々シルバーにとって「大切な宝物」になると確信します。期待していますので頑張ってください。

### 第7代会長 五十嵐 克夫 (29号～47号) 34号から毎月発行

#### 【會報100号記念に寄せて】

記念号の依頼を見て、人一倍今さらのように今昔の感に思いました。

私がシルバーに入会した当時の會報は年2回(3月・9月)の発行だったので、記事は半年前の出来事が多く、話題の種にもならないものであった。従って読む気もなかった。

しかし、何の巡り合わせか私が会長になって、會報はこのままではいけない！！と思ながらも就業規約を作ったばかりで、運用のこともあって手がつけれなかった。

平成16年独自事業の関連でパソコンを導入することをきめ、それに合わせて會報を毎月発行することとした。というのも年2回の発行で資金もたいした事がなくても12回となれば考えなければならない。それまで投稿者に図書券を贈っていたのもやめ、パソコン同好会の実力をつけるため発行方を依頼することで、あわよくばパソコン印刷の独自事業にも繋がれば？と夢をみた。

という事で簡単に毎月発刊の経緯とするが、編集する方は毎月のこと企画が大変だったと思います。欠版することもなく100回を迎えることは望外の喜びであり、益々の御発展を祈念します。

第8代会長 初野 正夫（48号～105号現在） 毎月発行

【シルバー人材センター会報 100号発刊記念に当たって】

当センターは、昭和55年8月に流山市高齢者事業団として発足し、昭和59年2月に当時の役職員及び関係官庁のご尽力をいただき社団法人流山市シルバー人材センターとして設立しました。以来、多くの会員の皆様の暖かいご支援と励ましのもと事業運営を推進してまいりました。会報は、創立と同時に創刊され、これまでの27年間のセンターの歩みと活動の歴史を記録し後世に残してきたことは、誠に意義深く感慨もひとしおのがあります。

ここに創刊100号を迎えることになりましたことは、発刊に携わった広報委員のご苦勞及びご協力いただいた会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

これからも、会員による会員のため役立つ会報として末永く継続をし、より充実し発展

### ◇◇◇◇ 歴代編集委員長からのメッセージ ◇◇◇◇

|    |       |     |        |     |        |     |       |
|----|-------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|
| 初代 | 鈴木 政信 | 2代  | 麻生 修   | 3代  | 久下沼 満  | 4代  | 塩島 性一 |
| 5代 | 山田 富雄 | 6代  | 大谷 喜一郎 | 7代  | 小池 良男  | 8代  | 紅谷 幸夫 |
| 9代 | 竹嶋 耕一 | 10代 | 浅野 正勝  | 11代 | 小林 富二男 | 12代 | 富田 秀之 |

(氏名、敬称略)

大谷 喜一郎（21号～24号） 年2回発行

【タイトルを「シルバー流山」に変更】

会報編集に携わっていた頃、当時の会報の表紙のタイトルは、毛筆書体で横に「シルバー」と表示されその下に、「人材センター会報」と二段に印刷されたタイトルでした。そこで会報編集委員の諸兄と計り、これの改正案をとりあげ、表紙のタイトルの変更デザイン化・シルバーセンターのマークを入れるなど、改正案を提出し委員会、事務局のOKをとりました。平成十二年の春の会報二十四号から新タイトル、シルバー流山、としたのでした。あっと云う間に十余年なつかしい思い出です。

小池 良男（25号～28号） 年2回発行 【会報に携わった思い出】

私が担当した会報は、25～28号でした。初めての担当でとまどいましたが、会報は「センターと会員をつなぐ役割」という使命をもつことから、皆さんに喜んで読んでもらえる会報を念頭に、編集に取り組みました。編集に当たっては、従来の内容を踏襲する中で、更に「職場紹介」等、新しいシリーズも設け、会員の活動状況をお知らせするようにしました。ただ経費の関係で、年2回の発行にとどまり、せめて年4・5回は発行できればよいがと常に思っていました。現状は、編集委員の皆さんが手作りで、しかも毎月発行されており、すばらしいと思っています。

紅谷 幸夫（29号～31号） 年2回発行 【設立20周年記念誌発行】

平成十二年に広報委員として「シルバー流山」の発行に携わりましたが、六ヶ月に一回の発行でも悪戦苦闘の連続でした。それでも委員相互の連携と努力で頑張って作りあげた思いがありました。現在は毎月一回の発行で、内容も会員の要望に応えた情報が掲載されており、喜ばれております。その大変なご苦勞とご努力には心から感謝しております。委員の皆様には今後共一層のご活躍を期待しております。

**竹嶋 耕一**（32号～47号）34号から毎月発行 **【外注から内作(PC同好会)に変更】**

石岡 SC への研修で月刊広報を勉強させてもらい、その直後から流山も広報の変更が理事会で決定された。その担当に、学生時代・社会に出ても広報作成みたいな事に無縁であった小生にお鉢が廻って来た。経費節減の為外注を自前に、カラーをモノクロに等の条件の中、原稿集めが大変であったが、左開きも本来の右開きに直す等試行錯誤の繰り返しで何とか早や 100号を超える迄に至った事は当時理事、PC 同好会の皆様のお力添えと深謝します。

**浅野 正勝**（48号～71号）毎月発行 **【設立25周年記念誌発行】**

「シルバー流山」100号達成おめでとうございます。“期待をこめて発進”平成16年秋の「石岡市広域シルバー人材センター」への研修訪問は、多くのシルバー運営上のノウハウを得ましたが、広報紙の毎月発行は会員ニーズに合った速報性で私達の求めているものでした。平成17年3月の季刊誌33号発行直後に34号（17年4月号）の毎月発行になりましたが、この時の編集会議の情景をなつかしく思い出します。竹嶋広報編集委員長から6年間広報委員に名を連ねてまいりましたが、この間、市の指定管理者制度導入、つくば新線開通などの掲載が印象に残ります。これからも速報性を生かした公平で偏りの無い編集に努めて下さい。これからの限りない発展を期待しております。

**小林 富二男**（72号～95号）毎月発行 **【創刊～100号、そして明日へ】**

創刊から100号までを通読してみました。創刊号からはセンターを設立した会員の喜びと抱負が、以後の各号からは事業の進展に向けて活躍する会員の活気が伝わってきます。会報がセンターと会員を結び付けている絆であることを再認識しました。

私はかつて「元気の出る広報」を掲げましたが、その真意は「報告」という根幹に「生き甲斐」という枝を張ることでした。会報は明日へ希望をつなぎます。

**富田 秀之**（96号～105号現在）毎月発行

100号の発行を迎えた時、編集委員会では、昭和59年3月の創刊号発行から常に会員とのコミュニケーションを大切にし、発行し続けている貴重な情報の中から主な記事を抜粋しての記念号を考えました。創刊号から全ての会報が揃い、委員会で検討を重ねた結果、ITの時代でありホームページに全ての会報を掲載する事にした事、又、センターにて創刊号からの会報をご覧になれる事などから、伝統ある会報の編集、発行にご尽力された歴代の会長、広報編集委員長の方々からのお言葉をいただいて特別ページとして掲載する事に致しました。これからもセンターと会員の皆様を結ぶ情報源としての会報づくりを目指して参ります。今後ともご指導、ご協力宜しくお願い致します。